

番号	項目	質問事項	回答
1	3 業務内容 【共通事項】 (1) 行程管理	申込・確認～支払ができる運営管理業務の Web システム構築は本行程の何カ月前からの運営を求めるか。	令和7年3月頭には運営をお願いします。参加登録フォームに記載した募集案内を上記の時期に発信予定です。従って、遅くとも2月中旬までにフォームの原型をお作りいただき、その後、主催者側と打合せの上、完成させていく流れを想定しています。
2	3 業務内容 【共通事項】 (3) 通訳	通訳案内士以外の同時通訳可・一般通訳・通訳（MC補助）については通訳案内士の登録・資格等必要な条件はあるか。	通訳案内士（山陰限定含む）については、資格を有する者としています。それ以外の区分については、それぞれの語学水準を示す目安で、特定の資格を求めるものではありません。
3		通訳案内士は、「中国語の通訳案内士国家試験合格者」・「山陰地域限定特例通訳案内士」いずれかを持っていればよいという解釈でよいか。	御見込みのとおりです。
4	3 業務内容 【共通事項】 (4) 宿泊施設	前泊の費用負担が参加者1人当たり10,000円負担（予定）とのことですが、宿泊の見積額が1万円を超える場合、超えた分の費用については委託費用に計上ということでしょうか。	御見込みのとおりです。
5		参加者数見込み一覧と仮予約済みの部屋数より、部屋タイプの相違があっても1室1人利用で算出すればよろしいか。（和室なども）	御見込みのとおりです。1人1室で確保する前提で算出してください。
6	3 業務内容 【共通事項】 (7) アトラクション	晩餐会や交流会において、会場内でPR映像などを流す場合は、その演出にかかる費用も委託費に含めるべきか。	御見込みのとおりです。
7	3 業務内容 【共通事項】 (8) エクスカーション	エクスカーション催行にあたり、台湾側と日本側県外参加者は混載か、別々の運行か。	混載となります。その為、添乗する通訳を要し、且つ観光に係る諸案内・説明を行う目的で、その区分を「通訳案内士」とするものです。
8		交通移動（エクスカーション以外の移動）の場合でも台湾側と日本側県外参加者は混載か、別々の運行か	混載を前提としています。
9	3 業務内容 【共通事項】	夕食についての飲料はどの程度の算出が必要か（飲み放題の算出など）。昼食も同じ。	特に定めてはいませんが、社会通念上妥当な範囲で算出いただければ結構です。

10	(13) 費用負担一覧	通訳について必要に応じて食事・宿泊経費を計上してもよろしいか。	通訳に謝金を支給しますが、通訳の食事、宿泊経費は委託費に含んでいません。
11	3 業務内容 【個別事項】 1～5	昼食交流会、主催晩餐会での、テーブル形式（正餐・立食buffet）、ひとりあたりの基本料理の想定単価、飲み物などの想定はどのようなお考えか。	県産品をメインに使用し、鳥取県の産品をPRする相応の金額を想定してください
12	3 業務内容 【個別事項】 1⑦	晩餐会での記念品（2～3万円程度）について、過去にどのようなものが贈呈されたのか。	開催地を代表する伝統工芸品その他名産品等、観光アピールに繋がる品々が記念品として主に選ばれております。
13	3 業務内容 【共通事項】 (2) 本部・添乗員業務	統括本部は1か所がよいか、あるいは行程にあわせて移動してもよいか	統括本部は場所を固定するものではなく、会期全体の責任者や窓口といった体制が明確になっており、サミット主催者及び参加者とコミュニケーションを取れる形になっていれば問題ありません。また、本県開催にあっては、行程的に西部から中部、東部へ日々移動していくので、統括本部も行程に従い移動していく形となります。
14	3 業務内容 【共通事項】 (3) 通訳	表中に同時通訳可とあるが、どういう意味か？ 国際会議での同時通訳者（主催者手配）にあわせて依頼するという意味か？その場合、支払いはどうなるか？	語学水準の目安です（同時通訳可能な程度の高い語学力を有する者）。
15		（前記の質問関連）同時通訳手配を実施する場合、同時通訳用の通訳機材はどうするか？ 仕様書には、仮設の同時通訳機材設置に関する記載がない。	「同時通訳可」については語学水準の目安ですので、同時通訳を行う場面は想定していません。
16		同じく通訳の表内 5月29日の歓迎晩餐会の通訳を「同時通訳」、「一般通訳」、「通訳案内士」に区別する理由は何か？	本サミットの開催目的に鑑み、本県の観光資源に通曉した人物を一定数配置する必要性から「通訳案内士」については、仕様書記載のとおり有資格者である必要があります。その他については区別というより語学水準高低の目安とお考え下さい。
17		表中の一般通訳に民間・ボランティアとあるが、どういう意味か？民間⇒手配するプロ通訳ボランティア⇒プロではない県内在住の台湾出身者等という意味か？その場合、民間、ボランティアにそれぞれどういった役務を想定しているか？	民間通訳は、通訳業を生業とする方々を想定しています。対してボランティア通訳は、通訳が可能であるが生業としているわけではない方々（国際交流財団等の登録ボランティア通訳などを想定）です。主にテーブル通訳を想定しており、配置に際し、語学水準の参考とするもので、両者共に謝金支給の対象となります。
18		国際関係を鑑みて。中国（大陸）人の通訳手配は問題ないか？NGか。	問題ありません。但し、一定数の台湾出身通訳の手配が必要です。

19	3業務内容 【共通事項】 (6) 観光 PR コーナー	観光 PR 設置に係る手配 PR する事業者、市町村について想定、候補はありますか？（ママ）	現時点で定まっているものではありませんが、歓迎晩餐会では県西部の自治体・事業者中心、東中部での交流夕食会ではそれぞれの地域の自治体・事業者の PR 実施を想定しています。
20	3業務内容 【共通事項】 (7) 観光 PR コーナー	アトラクション候補については、すでに団体等に相談済みか？	未着手です。 ※あくまで例示であり、仕様書記載のアトラクション例より魅力的なものがあれば提案をお願いします。
21	3業務内容 【共通事項】 (9) ①各種制作物	招待状を用意する地元参加者は既に決定、想定済みか？	決定していませんが、属性としては行政、経済、観光・交通、国際交流等の関係者を想定しています。
22	3業務内容 【共通事項】 (11) 記録	動画および写真の納品形態はどのようなものか？動画については、編集、テロップ、音声入れ等が必要か	写真は CD-ROM にてデータ納品を想定しています。動画については、対外的な公開を想定のもと、行程全体の映像を3分程度に編集し、日台両語によるテロップ等適宜入れていただくことを考えています。